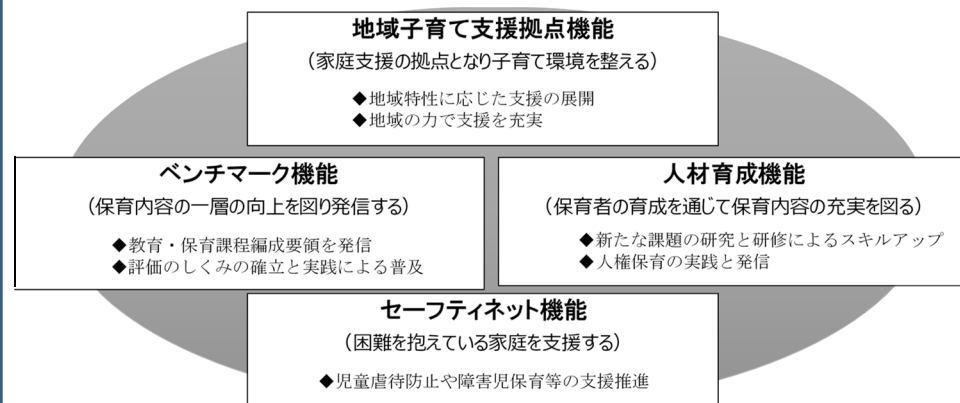


「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画【概要版】

1. 本計画の位置づけ

- この計画は「こどもすこやか育みプラン」に基づき、将来予測される児童数の減少を見据え、地域ごとの特性を踏まえた再配置及び再整備計画・スケジュール等を示すものです。
- 「公立こども園適正配置に向けた基本方針」に基づき、公立こども園の4つの機能(下図参照)を果たすため、人口推計・保育ニーズや現こども園の設備状況・地域の特徴、資源等を勘案し配置計画を定めるものです。

公立こども園の4つの機能



4つの機能を支える施設整備



2. 計画期間

- 計画期間は 15 年とします。
- 5 年ごとに行われる教育・保育ニーズ調査年度を目途に見直します。

計画イメージ



3. 現状と課題

- 0~5 歳児人口は中長期的には減少傾向にあります。また、多様化する子育て支援ニーズに応えることや身近に利用・相談できる環境の充実が必要です。
- 園舎の老朽化や機能上の課題に対応するためにも、計画的な整備が必要です。
- 市域を 5 つの地区に分けたニーズ量の推計は、次のとおりです。

教育・保育ニーズ量の推計(過不足)

地域	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
A	175	218	189	25	-176	-378	-381	-387	-387	-390	-385
B	456	408	274	109	-76	-226	-268	-297	-322	-336	-336
C	-99	-77	-103	-170	-241	-306	-321	-327	-329	-330	-326
D	-11	1	2	-8	-3	-16	-16	-13	-8	-1	8
E	-282	-264	-271	-258	-248	-239	-254	-264	-268	-275	-277

※表中、色が濃くなるほど、供給過剰

4. 公立こども園としての取組み

- 幼保連携型認定こども園としての特徴を最大限に生かし、待機児解消や教育・保育の充実に取り組んでいます。
- 全こども園で地域の子育て家庭がいつでも立ち寄れる環境整備を進めています。
- 近隣の民間園と連携し、小学校区単位でのネットワーク強化に取り組んでいます。
- 教育保育環境ガイドライン作成など、公民協働でより質の高い教育・保育の提供をめざしています。

5. あるべき姿に向けた公立こども園の適正配置の考え方

- おおむね中学校区ごと、徒歩圏内(1.5~2km)に1施設を配置します。
- 既存園の用地・施設の有効活用と施設長寿命化を基本とします。
- 地域の子育て支援ネットワークについては全市域に切れめなく担当区域を配分します。
- 地域需要には民間施設と連携して対応します。
- 地域との交流が深まる機能付加など魅力ある施設として再整備します。
- 0~5 歳児施設とし、災害時等においても対応できる施設規模を確保します。

配置園の定員規模 (人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
利用定員	6	10	18	20	30	30	114

※上記の定員規模を目安としながら、状況に応じ設定します
※延床面積は 1,500 m²程度を目安とします

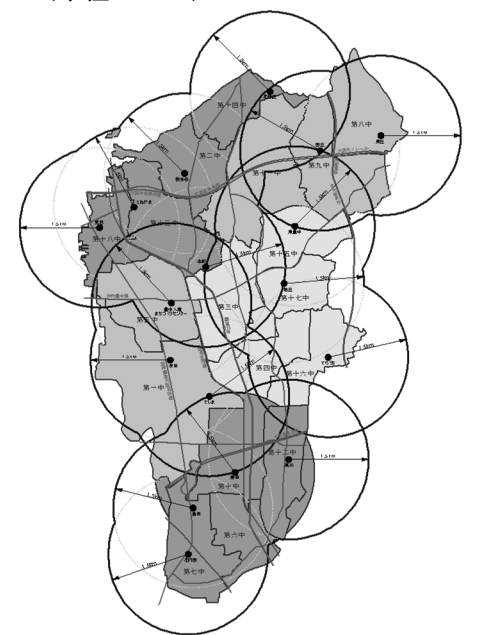
6. 適正配置及び再整備計画

- 計画の基本的な考え方および各こども園の現況や地域ごとの状況等を総合的に検討した結果、将来のこどもの減少を見据え再配置および再整備を行う施設を選定します。
- 再配置園については、場所によって建て替えも視野に入れ、元幼稚園施設も 0~5 歳児を受け入れる園として整備します。
- 統合した園の跡地については、関係機関と調整を行いながら活用方法を検討します。

再配置・再整備する施設一覧

地区	中学校区	再配置園
A地区	第八	東丘
	第九	西丘
B地区	第十五	東豊中
	第十六	てらうち
	第十七	旭丘
C地区	第二	桜井谷
	第十三	本町
	第十四	北緑丘
	第十八	蛭池
D地区	第一	原田
	第五	人権まちづくり
E地区	第七	島田
	第十	庄内西
	第十二	野田
		高川

再整備園マップ (半径 1.5 km)



7. 全体計画スケジュール

- 南部と南部以外の大きく 2 期に分け、適正配置に取り組めます。
- 再整備については園規模や周辺園の統合を勘案し、おおむね今後 10 年で取り組みます。
- 園ごとに実施時期を明らかにした個別計画を作成します。
- 統合実施時期については、ニーズ量が利用定員を下回ったタイミングから着手します。

スケジュール

平成30年(2018年)年度	平成31年(2019年)年度	平成32年(2020年)年度	平成33年(2021年)年度	平成34年(2022年)年度	平成35年(2023年)年度	平成36年(2024年)年度	平成37年(2025年)年度	平成38年(2026年)年度	平成39年(2027年)年度	平成40年(2028年)年度	平成41年(2029年)年度	平成42年(2030年)年度	平成43年(2031年)年度	平成44年(2032年)年度
第 1 期 (南部)														
							第 2 期 (南部以外)							
17園の再整備														